

一人で抱え込まず、チームで支える不登校支援

◆学校内外の多様なサポート窓口を上手に活用しませんか

日々の温かい児童生徒への関わり、ありがとうございます。「最近登校を渋りがちな」「教室に入りづらそうだな」と気になる児童生徒はいませんか？「学級担任の自分が何とかしなければ」と一人で悩む必要はありません。関係機関と連携しながら児童生徒の実態に応じた支援を行うことで、チームで支える不登校支援を目指していきましょう。

児童生徒に寄り添う支援フロー

校内外の多様なサポート窓口（支援事業）

STEP1：校内専門家への相談

- ・行き渋り、保健室登校などの初期サインや状態の変化を見極め、適切な働き掛けや関わりを持ちましょう。
- ・養護教諭や学年主任、スクールカウンセラー等へ早期相談し、情報を共有してください。

校内専門スタッフ

概要・特色：スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)、ハートなんでも相談員など、児童生徒への支援だけでなく、保護者や学級担任も相談可能な、身近なプロフェッショナル人材。

活用ポイント

学校にはいつでも頼れる専門家がいます。一人で抱え込まず、些細なことでも早期に相談するなど、積極的に活用しましょう。

STEP2：校内での居場所確保

<学校に登校できる状態>

- ・校内教育支援センターがない場合は、相談室等、一時的に落ち着いて過ごせる場所を確保しましょう。
- ・学級に入りづらい児童生徒が、校内で安心できる場所があることを伝えてください。

校内教育支援センター（校内サポートルーム）

概要・特色：学校内に設けた別室で、個に応じた支援を実施。学級に入りづらくなった児童生徒が、教室以外で安心して過ごすことができる校内の居場所。個々の状態に応じた多様な学習機会を確保できる。

活用ポイント

学校と家庭がつながり、児童生徒が校内で安心できる環境を一緒に作っていきましょう。

STEP3：校外の居場所検討

<登校が難しい状態>

- ・学校外に居場所を求めている場合は、教育支援センターやフリースクールを選択肢として考えましょう。
- ・家に引きこもりがちで外出が難しい場合は、メタサポキャンパスを紹介してください。



教育支援センター（適応指導教室）

概要・特色：県や各市町が運営する学校外の公共の施設。学校に登校が難しい児童生徒を対象に、個々に合わせた学習や相談等を行っている。利用料は基本的に無料。

活用ポイント

学校外にも、居場所や学びの場が各自治体にありますので、ぜひ相談してください。

フリースクール

概要・特色：県内各地に開設されている学校外の民間施設。学習や多様な体験活動ができる居場所。県は一定の基準を満たした施設に対し、授業料減免額等の一部を補助し、通いやすい環境を整えている。

活用ポイント

児童生徒のための平日の居場所として、県内各地に開設され、多種多様な学びの場が提供されているので、興味・関心に合わせて選択できます。

メタサポキャンパス（オンライン）

概要・特色：県教育支援センターが実施。学校や校外の施設へ通うことが難しい児童生徒のための、オンライン上のキャンパス。アバターを介し、メタサポキャンパスサポーターや他の利用者となつなげることができる。

活用ポイント

外出が難しく、孤立しがちな児童生徒への支援として、自宅から安心して学べる機会を提供し、社会的自立に向けた一歩につなげます。

💡 関連する経済的支援

不登校児童生徒支援金支給

概要・特色：学校外の施設へ通う生活困窮世帯の不登校児童生徒への交通費等の支援。

活用ポイント

経済的な理由で関係施設への通所を諦めることがないように支援しています。まずは、学校に相談するよう伝えてください。

子供たちを取り巻く環境は多様化しています。

県では多様なチャンネルを用意し、切れ目のない支援体制を目指し、子供たちの安心へとつなげます。